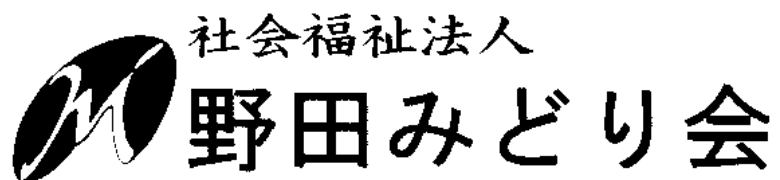


令和 2 年度

# 事業報告書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)



## 報告書内容

### 総括

### 事業所別報告

- I 法人事務局
- II 特別養護老人ホーム鶴寿園
- III 複合老人ホーム野田市楽寿園
- IV 在宅サービス事業部
- V 障がい者サービス事業部

### 事業所別利用明細表等

## 【法人理念】 すべての人を幸せに

野田みどり会は、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員などすべての人を幸せにすることを法人の使命として、最善のサービスを提供し、地域共生社会の実現に貢献します。

## 【法人基本方針】

- ・利用者様の目の高さでサービスを提供します。
- ・安全で質の高いサービスを提供します。
- ・サービス内容を利用者様と一緒に考えます。
- ・地域との連携を密にするよう努めます。
- ・職員どうしのコミュニケーションを良くし、いつも研修に努め活力ある法人にするよう努めます。
- ・安心して利用できるよう安定した経営を目指します

## 【総括】

事業運営につきましては、法人理念である「すべての人を幸せに」と基本方針に基づき取組を実施しました。

高齢者事業につきましては、経営の基盤となる利用人数の向上に全事業所が取り組み、特に特養鶴寿園(ユニット型)や特養楽寿園、デイサービスセンター鶴寿園や居宅介護支援事業所が前年度を大きく上回る利用人数を確保しました。また ICT の活用につきましては、特別養護老人ホーム鶴寿園のベッドセンサーやタブレット機器、訪問介護事業所のスマートフォンを利用した介護記録ソフトの導入により、生産性の向上と業務の効率化が図れました。

障がい者事業につきましては、野田市心身障がい者福祉作業所及び野田市立あおい空では、昨年度より利用率の向上を図ることができました。中根の家につきましても年度の途中からご利用者が1人増となり、4人満床での運営とすることができました。

収入面では、新型コロナウイルス感染症による利用控えの影響が懸念されましたが、関連補助金利用並びに介護保険法及び障害者総合支援法における特例措置による加算等の取得、適宜感染症対策を講じたことによる利用者数の確保により、前年度を上回る結果となりました。

事務費につきましては、業務委託費と新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品等の購入費が増加しました。

事業費につきましては、新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品等の購入費が増加したものの、電気、ガスにおける燃料費調整単価の減額や使用量の削減により水道光熱費が減額したため、前年度とほぼ同水準となりました。

この結果、資金収支計算書の事業活動収入は6.8%増の1,437,117千円、事業活動支出は4.2%増の1,260,313千円、事業活動収支差額は30.5%増の176,804千円となりました。

当期の業績（事業活動計算書による）

サービス活動収益	1,428,697千円	前年比	6.5%増
サービス活動費用	1,325,008千円	前年比	4.3%増
サービス活動増減差額	103,690千円	前年比	46.0%増
経常増減差額	103,593千円	前年比	50.3%増
当期活動増減差額	103,187千円	前年比	48.4%増

※各事業拠点の状況は、後述します。

法人組織のガバナンス強化とコンプライアンス経営の推進を図るため、組織を5つの事業拠点から、法人事務局、鶴寿園事業部、指定管理等事業部の3つの事業拠点としました。

【事業所別報告】

I 法人事務局

1 取組内容

- ①有給休暇時間単位取得制度や同一労働同一賃金、時間外労働の上限制限など働き方改革関連法に基づく適正な運営管理を実施しました。
- ②新型コロナウイルス関連につきましては、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業をはじめとする各種助成金にかかる手続を期限内に行うことができました。また、感染症に感染した者等の介護等の業務に従事した職員に対する（特定）防疫手当や、小学校などが臨時休業した場合に取得できる特別休暇を創設しました。さらに、新型コロナウイルス感染症から利用者を守るため日夜頑張っている職員に感謝し、福利厚生費を活用して職員全員に御礼品を贈りました。
- ③職員の資格取得及びキャリアアップのため介護福祉士実務者研修を法人内で2回開催し、21人が介護福祉士実務者研修資格を取得。うち、13人が介護福祉士国家試験に合格しました。
- ④新卒者採用活動では新型コロナウイルス感染防止対策としてオンラインによる会社説明会や採用面接試験を実施し、会社説明会には105人、採用面接試験には60人が参加されました。

2 理事会・評議員会

(1) 理事会 6回開催 場所：鶴奉第一自治会館

開催日時	議案
令和2年6月9日(火) 午後2時から	令和元年度事業報告書について 令和元年度決算書について
出席者数 理事7人 監事2人	定時評議員会の開催について 評議員候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の招集について 理事候補者の推薦について

	<p>非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>組織及び職務権限に関する規程の一部改正について</p> <p>経理規程の一部改正について</p> <p>苦情解決運営規程の一部改正について</p> <p>特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)の介護車両の購入について</p> <p>デイサービスセンター鶴寿園入浴補助装置の入替工事について</p> <p>令和2年度上半期賞与支給総額の決定について</p> <p>指定障害福祉サービス等事業者の指定更新について</p>
<p>令和2年10月30日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p>	<p>令和2年度上半期事業報告について</p> <p>組織及び職務権限に関する規程等の一部改正について</p> <p>職員就業規則等の一部改正について</p> <p>非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>送迎車両の購入について</p> <p>特殊浴槽の更新について</p> <p>令和2年度資金収支予算の補正について</p> <p>事業廃止等に伴う資産の移管について</p> <p>令和2年度下期賞与支給総額の決定について</p>
<p>令和2年12月18日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p>	<p>経理規程の一部改正について</p> <p>介護保険法に基づく指定事業者の指定更新について</p> <p>勤怠管理システムの導入について</p> <p>訪問・送迎車両の購入について</p> <p>見守りカメラ設置について</p> <p>複合老人ホーム野田市楽寿園におけるWiFi環境の整備について</p>
<p>令和3年1月15日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p>	<p>指定生活介護事業所野田市立あおい空運営規程の一部改正について</p> <p>短期入所野田市立あおい空運営規程の一部改正について</p> <p>日中一時支援事業野田市立あおい空運営規程の一部改正について</p> <p>給食調理業務委託事業者の選定について</p> <p>令和2年度資金収支予算の補正について(第2次)</p> <p>給与規程等の一部改正について</p> <p>施設長等の解任及び選任について</p>
<p>令和3年2月26日(金)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p>	<p>非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>職員給与の昇給資金量について</p> <p>令和2年度資金収支予算の補正について(第3次)</p> <p>評議員会の招集について</p>
<p>令和3年3月16日(火)</p> <p>午後2時から</p> <p>出席者数</p> <p>理事7人 監事2人</p>	<p>職員給与規程の一部改正について</p> <p>令和3年度事業計画書について</p> <p>令和3年度資金収支予算書について</p> <p>車両の購入について</p> <p>令和3年度指定管理者年度協定書の締結について</p>

	令和3年度業務委託等の契約締結について 特別職員の給与の決定について 介護保険法に基づく指定事業者の指定更新について
--	--

(2) 評議員会 2 回開催 場所：鶴奉第一自治会館

開催日時	議案
令和2年6月26日(金) 午後2時から 出席者数 評議員7人	令和元年度事業報告書について 令和元年度決算書について 理事の選任について
令和3年3月26日(金) 午後2時から 出席者数 評議員8人	令和3年度事業計画書について 令和3年度資金収支予算書について

3 監査等

内容	実施日時	対象事業所	結果(通知)
監事監査	令和2年5月29日(金) 午後2時から	全事業所	事業報告等監査結果 事業報告は、法令、定款に従い正しく示している。理事の職務執行に関する不正行為、法令定款に違反する重大な事実は認められません。 計算関係書類及び財産目録 法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

4 人事関係調書

採用者は正規職員16人、嘱託職員及び非常勤職員14人、退職者は正規職員11人、嘱託職員及び非常勤職員11人と採用者が上回ることとなりましたが、相変わらず人材確保に苦慮している状況にあります。

新卒者の確保につきましては、昨年度は3人でしたが、本年度は大学卒業者6人、専門学校卒業者2人、高等学校卒業者4人の計12人を確保することができました。この内大学卒業者、専門学校卒業者については、人材紹介事業者からの紹介によるものでした。

在職者

(令和3年3月31日現在)

雇用形態	性別	職員数(人)		平均年齢(歳)		平均勤続年数(年)	
		令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
総計	男	79	82	44.6	57.0	8年7か月	
	女	167	161	49.6	53.3	9年7か月	
	計	246	243	48.0	55.1	8年1か月	7年9か月

正職員	男	60	59	38.1	38.4	10年5か月	
	女	81	78	42.8	41.9	9年2か月	
	計	141	137	40.8	40.2	9年9か月	8年7か月
非常勤職員	男	17	20	65.6	65.8	7年2か月	
	女	83	81	56.0	55.4	7年0か月	
	計	100	101	57.7	60.6	7年0か月	7年4か月
嘱託職員	男	1	2	60.0	62.7	11年0か月	
	女	3	2	63.5	62.5	9年11か月	
	計	4	4	62.3	62.6	10年3か月	9年3か月
特別職員	男	1	1	62.0	61.0	1年11か月	
	女	0	0	0.0	0.0	0	
	計	1	1	62.0	61.0	1年11か月	1年6か月

採用者・退職者（平均勤続年数）・離職率（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

雇用形態	性別	採用者（人）		退職者（人）		退職者の平均勤続年数（年）		離職率（％）	
		令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
総計	男	7	8	7	7	5年9か月		8.9%	8.5%
	女	23	21	15	24	3年10か月		9.0%	14.9%
	計	30	29	22	31	4年5か月	3年8か月	8.9%	12.8%
正職員	男	6	5	4	5	1年4か月		6.7%	8.5%
	女	10	7	7	10	4年9か月		8.6%	12.8%
	計	16	12	11	15	3年7か月	5年2か月	7.8%	10.9%
非常勤職員	男	0	2	2	2	5年2か月		11.8%	10.0%
	女	12	4	8	14	3年2か月		9.6%	17.3%
	計	12	16	10	16	3年7か月	2年6か月	10.0%	15.8%
嘱託職員	男	1	0	1	0	20年4か月	0	100.0%	0.0%
	女	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	計	2	0	1	0	0	0	25.0%	0.0%
特別職員	男	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	0	0	0	0

II 特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型・ユニット型）（ショートステイを含む。）

(1) 取組内容

【従来型】

- ①退居から次の入居までの期間を3日とし、入居待機者を5人以上確保することで、長期の空床期間がないよう入居調整を行いました。入院延日数が前年度より倍近く（320日増）となり、目標とする平均入居者数は達

成できませんでした。入院者の傾向として、高齢に伴う心肺機能低下による心不全や腎不全等で長期療養が必要なる例が多くみられました。

- ② 終の住まいの提供につきましては、介護支援専門員が中心となり、ご利用者様やご家族様の意向、ご利用者様の状態や情報を各セクションで共有してケアの統一を図り、安心して暮らせる終の住まいの役割を果たすことができました。退所者 28 人の内 24 人が施設内での看取りとなりました。
- ③ 令和 2 年 12 月末に新型コロナウイルスの陽性者が 1 人出ましたが、濃厚接触者への対応等を全職員が一丸となって行った結果、新たな発症者が出ることなく、終息を迎えました。濃厚接触者のエリア分けやゴミの処理等で様々な課題が出ましたが、その課題を分析し、業務継続計画（BCP）と連動しながら、感染症対策に努めます。

【ユニット型】

- ① ユニット型への入居希望者が限られている中、入居検討委員会を年間 18 回実施し、随時検討を行うことで待機者の確保に努めた結果、前年度と比較し平均入居者数が大きく向上しました。（1 日平均 2.4 人増）またご入居後に、多職種により実際の食事の場で内容を検討するミールラウンドを実施することにより、誤嚥性肺炎に起因する入院日数が減少しました。
- ② 職員研修につきましては、コロナ禍で職員が密になって研修を実施することを極力避け、フォローアップ研修（介護研修の動画サイト）を活用し、職員のスキルアップや知識の向上を図りました。感染症対策や看取りケア、介護事故の知識等、自分の予定に合わせて研修を行うことができるため、全職員が参加可能になり、一律に知識を得ることが可能になりました。
- ③ 事故防止につきましては、フォローアップ研修を実施することでヒヤリハットの考え方や危険予測について学んだ結果、ヒヤリハットの報告件数が前年度と比較し大きく増えました。（年 215 件増）しかし、転倒による事故も増えているため、引き続き研修を実施し、入居時や退院時に事故のリスクの把握と安全対策について多職種で検討して、事故を減らせるよう努めてまいります。

(2) 利用実績

特別養護老人ホーム鶴寿園	従来型		ユニット型	
	特養	ショート	特養	ショート
定員	54 人	16 人	90 人	10 人
令和 2 年度目標平均入居者数(1 日)	53.0 人	14.0 人	88.0 人	8.6 人
令和 2 年度実績平均入居者数(1 日)	51.9 人	13.2 人	87.6 人	8.8 人
達成率	97.9%	94.3%	99.5%	102.3%
令和元年度実績平均入居者数(1 日)	52.9 人	13.5 人	85.2 人	9.0 人

サービス活動収益につきましては、従来型（ショートステイ込）で前年比 0.7%増の 279,442 千円、ユニット型（ショートステイ込）で 3.3%増の 506,505 千円となりました。主な要因として、従来型では補助金事業収益の増による



もので、ユニット型では平均入居者数の向上による介護報酬収益の増と補助金事業収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、従来型(ショートステイ込)で前年比 3.8%増の 252,698 千円、ユニット型(ショートステイ込)で前年比 0.8%増の 442,585 千円でした。主な要因は、従来型では人件費と給食業務委託費の増によるもので、ユニット型では給食業務委託費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、従来型(ショートステイ込)では 14,006 千円となり、ユニット型(ショートステイ込)では 37,747 千円となりました。

### Ⅲ 複合老人ホーム 野田市楽寿園 (養護老人ホーム・特別養護老人ホーム)

#### (1) 取組内容

- ①ご利用者様との会話を大切にし、残存機能を活用して自らが進んで行える支援を心掛け、余暇活動の充実を図りながら、楽しみのある生活となるよう支援しました。コロナ禍であったため、余暇活動も昨年と比べて減少しましたが、できる限りのアイデアを出し余暇活動を行いました。
- ②職員一人一人が感染症の対策を心がけ、ご利用者様の状態観察を密に行うことにより、早期発見・早期対応ができた為、入院後 14 日以内に退院することができました。結果、入院延べ日数 76 日。昨年、533 日から 457 日減少することができました。
- ③コロナ禍でしたが、地域に向けた取組として、東部小・中学校や公民館のペットボトルキャップの回収を行い、感染症に留意し分別活動を行い、年間合計 119.5kg (約 51,385 個) 分を回収しました。東部小学校との年 3 回の交流会の開催はできませんでしたが、下校時の防犯パトロールに、少人数で、感染症に留意し距離を取り参加することにより、地域児童との交流を行いました。

#### (2) 利用実績

複合老人ホーム野田市楽寿園	特 養	養 護
定 員	29 人	41 人
令和 2 年度目標平均入居者数(1 日)	27.6 人	30.0 人
令和 2 年度実績平均入居者数(1 日)	28.8 人	30.09 人
達 成 率	104.3%	103.1%
令和元年度実績平均入居者数(1 日)	26.1 人	29.9 人

※ 養護の目標平均入居者数は予算定員

サービス活動収益につきましては、前年比 7.2%増の 212,987 千円となりました。主な要因は、入院日数の減少と入退所が年間各 2 人と少ないこと。また、空所期間が減少したことにより、利用率が大きく向上したことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 5.3%増の 197,520 千円

となりました。主な要因は、職員配置による人件費の増と入居延人数の大幅な増加（前年比 940 人増）による経費増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては 5,982 千円となりました。

#### IV 在宅サービス事業部

##### 1 デイサービスセンター鶴寿園

###### (1) 取組内容

- ① ご利用者様が望む暮らしの支援のために、個々に合わせたプログラムを提供するとともに、個々の精神的安定のため、全職員がご利用者様の相談役となり、日々の聞き取り調査に取り組んできました。
- ② 各職員が生活相談員としての役割を担い、家族や介護支援専門員と直接相談を行ってきたことで、業務の効率化をはかり、利用者ニーズの明確化に繋がりました。
- ③ 継ぎ目のない受入体制を構築するために、多様なニーズ(医療ニーズや遠方利用者の受入など)に応えられるよう、業務・時間の配分を改善し、「依頼に対してお断りしない取組」を実践することができました。

###### (2) 利用実績

デイサービスセンター鶴寿園	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和2年度目標	30人	365日	20.0人
令和2年度実績	30人	365日	21.0人
達成率			105%
令和元年度実績	30人	364日	18.8人

サービス活動収益につきましては、前年比 8.0% 増の 73,946 千円となりました。主な要因は、平均利用者数の増加による介護報酬収益の増と補助金事業収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 2.5% 減の 63,726 千円となりました。主な要因は人件費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、14,708 千円となりました。

##### 2 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

###### (1) 取組内容

- ① コロナウイルス感染症にて、外出行事、岩木小学校との交流、ボランティアの受入れは中止となりました。機能訓練、レクリエーションについては、飽きのこないよう毎月の会議にて進捗具合を確認し、ご利用者様に合わせて提供することができました。外部対応では、正職員を中心に全職員が相談業務を携わることを意識しながら、ご利用者様からの相談、状況把握に努め、ケース記録、報告・相談・連絡を徹底しました。また、細かい事でも、ご家族様や担当介護支援専門員へ連絡するなど連絡を密にとり利用の様子や状況の変化について情報共有を図りました。

- ②継続して脳機能訓練らくしゅう式を実践しました。今年度で5年取組を行い、脳機能訓練のノウハウも培うことができたことで、次年度については、らくしゅう式を一步進めるべく、岩木小学校デイサービスセンターオリジナルの機能訓練として取り組むことへ方針をまとめました。
- ③コロナ禍の中で営業活動にも制限がある中で、岩木小独自の広報誌を作成し営業を行いました。第1回目の緊急事態宣言後、4月、5月は利用控えをするご利用者様も多く、月の平均利用率が15人台であったこともあり、年間の目標は18.2人（達成率94.7%）と未達成となりました。

## (2) 利用実績

野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和2年度目標	25人	310日	19.2人
令和2年度実績	25人	310日	18.2人
達成率			94.7%
令和元年度実績	25人	309日	18.2人

サービス活動収益につきましては、前年比4.1%増の43,939千円となりました。要因として、前期は新型コロナウイルス感染症による、利用控えもありましたが、下期には自法人内の居宅介護支援事業所から新規利用依頼も増え利用延べ人数増に繋がったものと考えます。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比1.2%減の40,926千円となりました。主な要因は、人件費614千円減、給食費・車両管理費等の事業費減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、2,150千円となりました。

## 3 鶴寿園訪問介護事業所

### (1) 取組内容

- ①ご利用者様のニーズに沿った、最適な訪問介護計画書を作成し、新システムへ入力することで、各担当ヘルパーも携帯から確認が出来ることで、サービス内容の把握ができ、良いサービスが提供できるよう努めました。また、ご利用者様が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、職員間での報告・連絡・相談は随時行えるようグループLINEを活用しました。
- ②特定事業所加算（Ⅱ）の算定要件を満たすため、研修会、グループ会議、ヘルパー会議の参加を全職員に義務付けし、コロナ過でも対応できるよう個人研修はネット配信を活用しました。
- ③新システムの活用については、まず常勤職員が操作方法を学び、その後非常勤職員へ指導するよう取り組みました。

## (2) 利用実績

鶴寿園訪問介護事業所	定員	営業日数	平均稼働時間(月)
令和2年度目標	120人	365日	760時間
令和2年度実績	120人	365日	726.3時間
達成率	95.6%		
令和元年度実績	120人	366日	729.3時間

サービス活動収益につきましては、前年比 10.8%増の 38,305 千円となりました。主な要因は、特定事業所加算（Ⅱ）の算定による介護報酬収益の増と補助金収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 7.0%増の 34,202 千円となりました。主な要因は ICT 機器の新システム導入によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、3,159 千円となりました。

## 4 鶴寿園居宅介護支援事業所

### (1) 取組内容

- ①新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令されたことで定期訪問の自粛となり訪問の機会は減少しましたが、電話やメールを活用してご家族様やサービス事業所との連絡を行い、情報の収集に努めることができました。直接の訪問が減少したことで、ご利用者様からのご要望の確認をする機会が少なくなってしまう、意向を聞き出すことが難しいこと場合もありました。
- ②ご利用者様やご家族様の解決すべき課題や状態に即した介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう、サービス事業所へのパンフレット送付依頼や利用状況などを確認して情報提供が行える準備を事前に行い、事業所内での情報共有を行いました。
- ③新型コロナウイルスの関係で対面での研修はほとんど開催されず、オンライン研修の形になりましたが、制度改正の研修を主に職員全体で受講するなど、在宅勤務時に各自でオンライン研修を受講しました。
- ④各地域包括支援センターや医療機関からの依頼に対して極力断らないことを意識して新規依頼に対応し、年間 161 件の新規相談に対して、地域包括支援センターからは 80 件、医療機関からは 14 件の相談を受けた結果、契約者の増につながりました。

### (2) 利用実績

鶴寿園居宅介護支援事業所	定員	営業日数	平均利用者数(1月)
令和2年度目標	172人	257日	152人
令和2年度実績	172人	258日	180.7人
達成率	118.9%		
令和元年度実績	172人	257日	161人

サービス活動収益につきましては、前年比 11.6%増の 30,545 千円となり

ました。主な要因は平均利用者数の増加による介護報酬収益の増と補助金事業収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 16.2%増の 28,607 千円となりました。主な要因は、職員増員による人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,258 千円となりました。

## V 障がいサービス事業部

### 1 野田市心身障がい者福祉作業所

#### (1) 取組内容

- ① ご家族様との日々の連絡や情報交換によって、現状の解決すべき課題について他の社会資源と連携しながら解決に繋げました。
- ② 作業種バリエーションの確保を目標に、各個人の能力に合わせて作業に取り組むことを目指しましたが、新型コロナウイルスの影響で作業種を増やすことはできませんでした。しかし、自主生産品の販売会がほぼなくなった補填として下請作業の受注量と亚克力ボードの取扱いにより、作業の充実を図りました。
- ③ 新型コロナウイルスの影響により中止した作業の再開を目指しました。特に感染が疑われる缶作業については、感染予防策を徹底し、ご家族様のご理解をいただいたうえで安定した作業提供を実現することができました。販売会の再開についても緊急事態宣言明けに取り組めるようにご家族様と随時慎重に話し合い検討を行っています。

#### (2) 利用実績

野田市心身障がい者福祉作業所	生活介護事業所		就労支援 B 型事業所	
定員	令和 2 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和元年度
	25 人	25 人	15 人	15 人
営業日数	245 日	238 日	245 日	238 日
目標平均利用者数(1日)	28.4 人	30.3 人	10.7 人	11.9 人
実績平均利用者数(1日)	27.7 人	27.8 人	11.1 人	10.3 人
達成率	97.5%	91.7%	103.7%	86.6%
(就労支援 B 型)		令和 2 年度	令和元年度	
目標年間作業 収入年間	目標	1,615 千円	1,530 千円	
	実績	1,563 千円	1,224 千円	
	達成率	96.8%	80.0%	
1 人平均月額工賃	目標	8,100 円以上	8,500 円以上	
	実績	5,164 円	6,609 円	
	達成率	63.8%	77.8%	

定員の 125%利用可

サービス活動収益につきましては、前年比 4.2%増の 87,747 千円となりました。主な要因は、就労継続支援 B 型の登所率が低下傾向にありました

が、新規ご利用様が3人増員したこと。その他、在宅期間を廃止したこと  
とで開所日数が前年度比7日増、延べ人数；前年度比359人増となった結果  
となりました。

サービス活動費用につきましては、前年比6.1%減の75,150千円となり  
ました。主要因は、生活介護の人件費（嘱託職員1人、非常勤職員1人；補  
充なし）によるものです。補充なしについては、支援区分6のご利用者様の  
退所が確定していたためです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、10,020千円となりました。

## 2 障がい者グループホーム 中根の家

### (1) 取組内容

- ①年度当初予定していた自治会総会や地域の運動会等は、新型コロナウイルス感染症の流行のため中止となりました。
- ②ご利用状況については、1床を空床型短期入所として使用してきましたが、相談支援事業所と連携し、10月半ばより長期入所者様にご利用いただくこととなり、満床にすることができました。
- ③ご利用者様が増えたこともあり、職員を地域で募集し、世話人1人を採用しました。

### (2) 利用実績

障がい者グループホーム 中根の家	定員	長期入所	短期入所	日中一時支援
令和2年度目標	4人	4.0人	0.0人	1.0人
令和2年度実績	4人	3.5人	0.0人	0.0人
達成率		87.5%	0.0%	0.0%
令和元年度実績	4人	2.8人	0.5人	0.2人

サービス活動収益につきましては、前年比11.6%増の11,567千円となりました。主な要因は、年度途中で入居1人増となり、4人入居の状況が維持できたことです（延べ人数349人増）。

サービス活動費用につきましては、前年比18.4%増の11,894千円でした。  
その結果、当期活動増減差額につきましては、△627千円となりました。

## 3 野田市立あおい空

### (1) 取組内容

- ①年度末に満足度調査と意向調査を行い、ご利用者様とご家族様からの希望に沿った個別支援計画を作成しました。計画とともに、ご利用者様の状況に合わせた支援、また、年に一度の面談時以外にも相談に応じることで満足度の高い評価をいただきました。
- ②機能訓練では、大学教授による研修会参加や理学療法士、作業療法士からの指導を仰ぎ、職員のできる範囲での運動を活動に活かしました。

- ③日中一時、短期入所ともに、希望に沿った利用で日程調整しました。日中一時は看護職員が配置されたことで、医療的ケアが必要なご利用者様もご利用いただいています。

(2) 利用実績

野田市立あおい空	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和2年度目標	20人	233日	17.0人
令和2年度実績	20人	233日	16.7人
達成率	98%		
令和元年度実績	20人	224日	13.1人
サービス		日中一時	短期入所
定員		6人	3人
営業日	令和2年度	278日	135日
	令和元年度	265日	137日
	増減	13日増	2日減
サービス		日中一時	短期入所
利用者延人数	令和2年度	841人	282人
	令和元年度	787人	265人
	前年比	6.9%増	6.1%増
1日当たり平均人数	令和2年度	3.0人	2人
	令和元年度	2.9人	1.8人
	前年比	3.4%増	10%増

サービス活動収益につきましては、前年43.2%増の143,664千円でした。要因としては、利用者3人増に伴う支援員、看護職員1人ずつの増配の指定管理料の増額が主となっています。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比35.1%増の124,214千円となりました。主な要因は利用者3人増により、人件費16,391千円増、事業費1,078千円増、事務費14,792千円増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、12,453千円となりました。